



九十九島

〔学校教育目標〕

心豊かで 活力に満ちた 生徒の育成

〔行動目標〕

気づき 考え 実行する

学校HP : <http://www.city.sasebo.ed.jp/jh-hino/>

文責 前田 英穂 (平成29年12月 7日発行)

1年生が、「ふるさと歴史発見!」



11月14日(火)、1年生が、「ふるさと歴史発見」学習事業で佐世保市の史跡を散策しました。この「ふるさと歴史発見」学習は、佐世保市教育委員会が、市内中学1年生を対象に実施している体験学習事業で、「生徒に、ふるさと佐世保市の歴史遺産を見学や調査等の体験的な学習を通して具体的に理解させることにより、社会科学学習や総合的な学習の時間を充実させ、確かな学力を育成する。また、郷土の歴史や文化に対する理解や郷土に対する誇りと愛情を育てるとともに、ふるさと佐世保市の発展を願う態度を培う。」ことを目的として実施されています。本年度日野中では、A「市南部遺跡」、B「原始佐世保」、C「戦跡めぐり」の3コースに別れて体験学習を実施しました。以下に、それぞれのコースを引率した先生方からの報告を掲載します。

Aコース「市南部の遺跡を訪ねて」(宮地区)

〔①無窮洞 ②てぼ神古墳 ③蓮輪館跡 ④宇都宮神社 ⑤長競石 ⑥梅ヶ枝酒造〕

佐世保市史談会の宮崎勝秀先生の案内のもと、「佐世保市南部遺跡」コースをめぐりました。まず無窮洞を案内してもらった後、宮地区一帯の様々な時代の遺跡を回り、最後は梅ヶ枝酒造の方にもお話を聞くことができました。先生方の丁寧な説明をみんなが真剣な表情で聞き入る姿が印象的でした。同じ佐世保市内とは言え、ここ日野中学校の生徒が南部遺跡を巡る機会は少なく、この学習の中で佐世保市への関心も少しは高まったのではないかと思います。今回は限られた遺跡について見聞しましたが、「自分のふるさとに誇りを持つ」ことをこれからも大切にして欲しいと願います。



Bコース「縄文・弥生の原始佐世保を訪ねて」

(大野・吉井地区)

〔①泉福寺洞窟 ②岩下洞窟 ③福井洞窟〕

史談会、中島眞澄先生のガイドで、泉福寺洞窟、岩下洞窟、福井洞窟を見学しました。佐世保市内には多くの先史時代の洞穴遺跡があるそうで、この3つの洞窟はそ



の中でも代表的な洞窟だそうです。いずれも旧石器時代終末期から縄文時代にかけて、長期間人々が生活していた遺跡です。また、岩下洞窟は昭和33年に高校生が、泉福寺洞窟は昭和44年に大野中学校の生徒が発見したことを知り、生徒たちは同年代の活躍に刺激を受け、ガイドの先生の話に真剣に耳を傾けていました。洞窟で人々が暮らす利点を質問されたときには、まるでテレビのクイズ番組でも見ているかのように正解を続出、当時の人々の身になって考えている様子が窺えました。相浦川、佐々川流域には他にも多くの遺跡が存在しています。今後、一層ふるさととの歴史に関心を抱いてくれることを期待しています。



Cコース「戦跡めぐりツアー」(宮・針尾地区)

〔①無窮洞 ②浦頭引揚祈念資料館 ③針尾無線塔〕

史談会の廣田昌一呂先生のガイドで、針尾送信所、浦頭資料館、無窮洞を見学しました。最初に訪れた針尾送信所では、まずその高さに圧倒され、生徒たちはみんな倒れんばかりに136mの無線塔を見上げていました。浦頭引揚資料館では写真や資料をたくさん見ることができました。無窮洞は旧宮村国民学校の避難所として当時の教師と児童によって掘られた防空壕でした。その頃の子どもたちはどんな気持ちで生活していたのか、掘削風景の写真を見ながら真剣な眼差しで思いを馳せている様子でした。貴重なお話や体験の連続で、生徒たちも一生懸命メモを取り、改めて佐世保の魅力に気づけたようです。今回得た情報や経験、発見は、事後学習の新聞づくりでさらに深めてもらいたいと思います。

